

Withコロナ時代のテレワーク推進セミナー

# 攻めと守りのIT環境整備による 働き方改善

2021年1月29日

株式会社エオネックス 喜多王 章

1. エオネックス会社概要・働き方改善プロジェクト室の設置
2. コロナ契機のテレワークの緊急導入
3. 働き方改善のためのテレワーク導入
4. 今後の取り組み

## 会社概要

創業：1963年9月（昭和38年9月）

本社：石川県金沢市東蚊爪町1-19-4

事業：温泉開発をワンストップでトータルサポートする

『温泉事業』と、水質調査・分析、環境調査、地盤調査、防災調査などの『環境事業』の2つの事業を柱に営業展開

拠点：穴水町、富山県、福井県、岐阜県、長野県、東京都、大阪府、福島県、沖縄県他

社員数：158人（技術職74%、男女比7：3）



## 働き方改善プロジェクト室の設置

設置：2019年4月

狙い：働きやすい職場環境の創造

テーマ：ITを活用した時間意識の高い働き方への転換



### ➤ 人材育成システムの体系化と運用

- ・OJTガイドラインの作成、教育体系化
- ・エオネックスアカデミー設立、研修実施

### ➤ 採用活動の強化

- ・Web会社説明会、採用試験の導入
- ・UIターン転職者の採用活動強化

### ➤ 人事関係システムの見直し

- ・各種規程整備(育児・介護、テレワーク)
- ・カオナビ導入し人事情報の集約と共有化
- ・人事評価制度の見直し

### ➤ ITを活用した業務の効率化

- ・朝礼、社内研修等のZoom配信
- ・名刺管理システムの導入
- ・ワークフローによる電子化

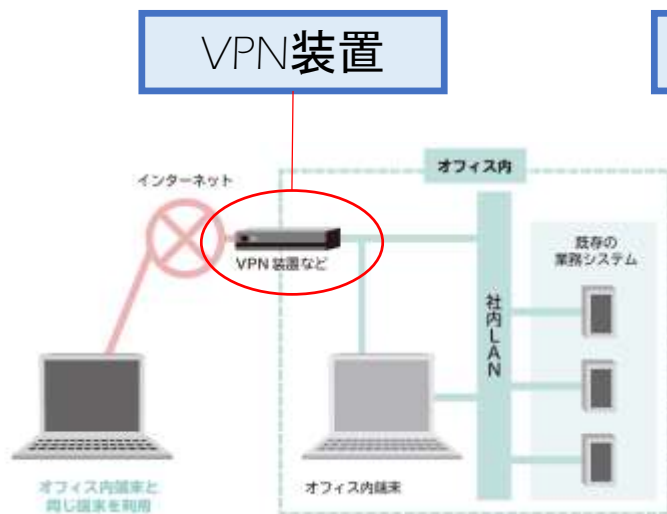
## 2. コロナ契機のテレワークの緊急導入

### ガイドライン策定

2020年3月末

- ・ 対象：従業員、家族に感染の疑い
- ・ 緊急事態宣言時：全従業員対象 交替、時差出勤。PC事情や納期対応は特別配慮
- ・ 勤務場所：在宅のみ
- ・ 勤務時間：原則残業なし
- ・ 業務報告：上司に日々メールやチャット等で報告
- ・ 端末：会社貸与PCを持ち帰り
- ・ 通信：自宅の環境
- ・ 教育：開始前に都度対応

### 在宅時に会社サーバにアクセス可



### サイボウズリモート



4/10 5% (8名)  
 4/13 県緊急事態宣言  
 4/14 40%  
 4/23 66% (98名)  
 5/31 緊急事態宣言解除  
 6/1 ~ 東京、富山勤務者  
 テレワーク継続

- ・ 職種：現地作業不可  
 交替・時差出勤

## 2. コロナ契機のテレワークの緊急導入

## アンケート結果

## 【課題】

## ◆課題①業務進捗

- ・VPN接続遅い
- ・紙書類
- ・子供の世話



## 【意見・要望】

- ・VPN接続環境改善
- ・電子化、押印廃止（社内から）
- ・サイボウズで各人が予定入力

## ◆課題②勤怠・成果管理

- ・成果がみえにくい、不安
- ・全体の予定が把握できない
- ・信頼関係が必要
- ・できる業務が少ない



- ・サイボウズで各人が予定入力
- ・スマホ導入
- ・チャット導入
- ・社内同様ほったらかしにしない
- ・電話で直接確認することも必要

## ◆課題③公平性

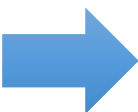
- ・PC、職種による差異
- ・通勤費、通信、電気



- ・ノートPCへ切り替え
- ・手当の支給

## ◆メリット

- ・通勤時間削減（オフ時間増）
- ・ストレス減る
- ・問い合わせなく集中可



回答の約8割は業務改善するなどで対象拡大し継続

### 3. 働き方改善のためのテレワーク導入

#### 石川県専門家派遣依頼

8月

的確・貴重な  
アドバイスを参考

- ✓ コロナ対策と働き方改革とは目的を分ける
- ✓ 出張と同様と考える。規則化は絶対ではない。
- ✓ 可能な職種、部署から始める
- ✓ 自律を目指し脱時間管理・みなし勤務
- ✓ 予定管理できるように



実施率（現在）

- ◆在宅：6%（10名）
- ◆モバイル：11%（18名）

#### ①コロナ以外を理由とするテレワーク制度化

◆テレワーク勤務ガイドライン策定（10月施行）

◆対象者を絞って可能な方から開始

	在宅勤務	モバイル勤務
理由・職種	育児介護、遠隔地、療養、首都圏 営業、事務職	出張先、移動時
頻度	週1以上、半日単位（事前申請）	任意
勤務時間	みなし勤務適用可能	出張同様みなし勤務適用可
通勤費等	通勤費支給・その他手当なし	通常勤務と同じ
通信機器	会社PC持ち出し・VPNサーバ接続	→同様に可能とした

# 3. 働き方改善のためのテレワーク導入

## ②電子化・クラウド化による場所を選ばない業務へ

ワークフロー



5月～

人事管理



7月～

名刺管理



9月～



スマホ導入



10月～

## ③三密を避けた会議・情報共有

朝礼Web配信

7月～



社内研修

本社内・拠点・現場



Web面接・説明会





### 3. 働き方改善のためのテレワーク導入

#### ④攻め（利便性向上）とあわせた守り（セキュリティ）の強化

##### 情報セキュリティガイドライン策定・全体研

- ・ スマホ、テレワーク<sup>修</sup>導入と合わせて10月実施、運用開始
- ・ 従来あいまいであった運用ルールを明確に規定
- ・ PCのログインパスワード管理強化
- ・ 持ち出しPC, USBメモリ等の暗号化
- ・ メール利用方法
- ・ スマホ利用ルール（Wifi接続、テザリング）



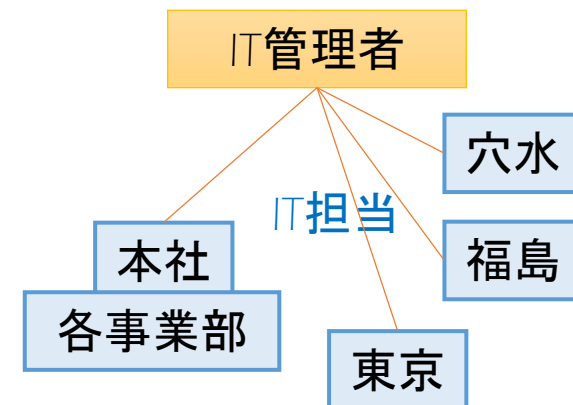
##### 社内IT担当制の導入

新たなIT施策の全社展開、着実な実行、今後の改革のため

IT管理者(情報システム部門)だけでは  
全従業員への展開は困難



実際にITツールやシステムを利用する側  
生産、営業部署のメンバーが主体的に関与・意見取り入れ  
事業部・拠点ごとに選任  
まずは、新規施策の実行の担当から





### 3. 働き方改善のためのテレワーク導入

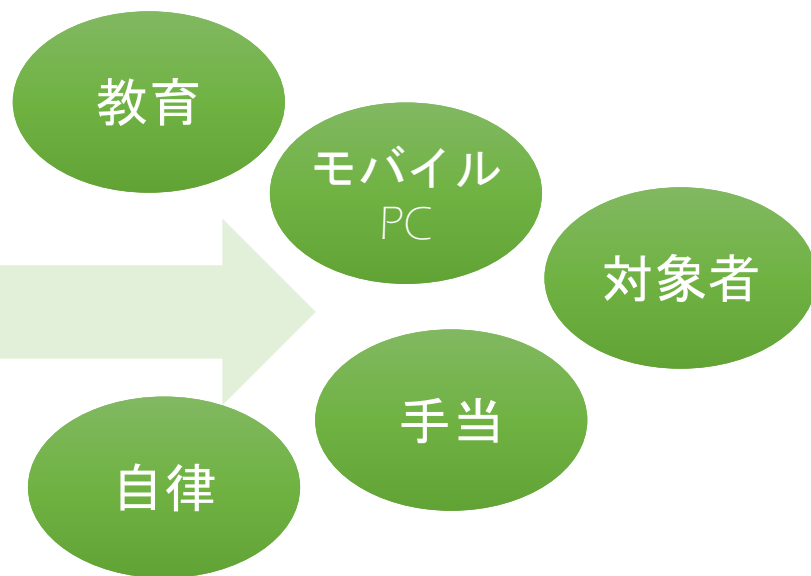
#### 効果・メリット

- ・ 通勤時間削減、家族との時間増えた
- ・ 共有化によるストレス低減
- ・ 大雪時の利用、渋滞緩和
- ・ 育児介護、治療、遠隔地等多様な働き方  
長く安心して働ける職場
- ・ 会議資料の印刷費、作業費削減（楽）
- ・ 探す時間抑制
- ・ 共有データの迅速有効活用



#### 苦勞した点・課題

- ・ 通信環境の整備
- ・ 運用ルールの社内浸透
- ・ ITリテラシー不足
- ・ PC環境、職種の違い、公平感
- ・ 上司部下の信頼関係



# 4. 今後の取り組み

## 今後の方針

IT活用促進により業務効率化を図り、より生産性の高い業務へ

目的=テレワークというより、**まずテレワークできる業務に変革**

